

日本学術会議公開シンポジウム



人口減少と日本社会

—ライフコース・社会保障・地域経済の行方—

主催：日本学術会議 経済学委員会 人口変動と経済分科会

日時：2013年12月20日（金） 13時～18時

場所：日本学術会議講堂（地下鉄千代田線乃木坂駅5番出口徒歩1分）

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34 電話 03-3403-5706（嶋津）

入場無料
当日受付

開催趣旨：わが国の人口は今世紀中の持続的減少が確実視されている。この持続的人口減少はまた超高齢化を伴ったプロセスでもある。これらの人口変動が経済・社会全般に与える影響は大きく、特に年金や保健・医療制度を中心とする社会保障制度や地域社会への影響は深刻かつ長期的である。このシンポジウムでは、人口減少と高齢化がわが国の社会に与える影響について、①今後の人口変動の展望、②人口変動と社会保障、③人口高齢化と地域経済、という3つの視点から総合的かつ多面的な検証を行う。



プログラム

- 13:00～13:10 開会挨拶 津谷典子（日本学術会議第1部会員，人口変動と経済分科会委員長，慶應義塾大学経済学部教授）
- 13:10～14:10 **報告1「わが国の将来人口推計」** 金子隆一（日本学術会議連携会員，国立社会保障・人口問題研究所副所長）
—討論： 鬼頭 宏（日本学術会議連携会員，上智大学経済学部教授）
- 14:10～15:10 **報告2「人口変動と社会保障」** 岩本康志（日本学術会議第1部会員，東京大学大学院経済学研究科教授）
—討論： 西村周三（日本学術会議連携会員，国立社会保障・人口問題研究所長）
- 15:10～16:10 **報告3「人口高齢化と地域経済」** 深尾京司（日本学術会議連携会員，一橋大学経済研究所長）
—討論： 徳井丞次（信州大学経済学部教授）
- [16:10～16:20 休憩]
- 16:20～17:45 **パネルディスカッション**
(モデレーター) 翁 百合（日本学術会議第1部会員，日本総合研究所理事）
—問題提起 樋口美雄（日本学術会議第1部会員，経済学委員会委員長，慶應義塾大学商学部教授）
(パネリスト) 金子隆一、岩本康志、深尾京司、鬼頭 宏、西村周三、徳井丞次
- 17:45～18:00 総括 岩井克人（日本学術会議連携会員，国際基督教大学客員教授）
- 司会 津谷典子